

教育委員会会議 令和6年8月定例会 会議録

日 時	令和6年8月22日 (木) 15:00 開会 17:16 閉会	会 場	津山市役所 202会議室
出席委員	有本 明彦 島田 美保 光岡 宏文 薬師寺 明子		土居 道宏
出席職員	朝田教育次長	木梨こども保健部長	
	松岡教育総務課長	石原学校教育課長	
	金田保健給食課長	金田こども保育課長	
	岡田次世代育成課健全育成係長(兼)青少年育成センター主査	手島教育総務課長補佐(兼)企画総務係長	
	中塚参事(兼)学校教育課長補佐	仁木参事(兼)学校教育課 学力・徳育推進係長	
	森参事(兼)学校教育課 家庭・地域連携係長	吉田学校教育課主任	
	福元学校教育課主任	伊東教育総務課主査	
	小椋教育総務課主事		
議 事	案	件	担 当 課
1.開 会			
2.教育長あいさつ			
3.会議録署名者 について			
4.前回会議録の 承認			
5.教育長等の 報告			
6.議 事			
(1)議 案	① 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検・評価報告書について		(教育総務課)
	② 「津山市立中学校部活動の在り方及び地域連携・地域移行の基本方針」 について		(学校教育課)
	③ 教科書採択について【非公開】		(学校教育課)
(2)協 議	① 令和6年度9月補正予算について【非公開】		(教育総務課)
(3)報 告	① 令和6年度 全国及び岡山県学力・学習状況調査の結果について		(学校教育課)
	② 令和6年度 教育長とPTA会長との懇談会について		(学校教育課)
	③ 津山市中学生 企業見学バスツアー・地域の大人に学ぶ夢育講座につい て		(学校教育課)
7.その他			
(1)各課からの お知らせ	① 津山市教育委員会通信9月号について		(学校教育課)
	② 給食だよりについて		(保健給食課)
	③ 「ひきこもり理解のための講演会」及び「ひきこもり当事者の家族のつどい」の 開催について		(次世代育成課)
	④ 保育の質向上に関する研修会の実施について		(こども保育課)
(2)次回定例会の 開催について	・津山市教育委員会会議9月定例会の日程について 令和6年9月26日(木)午後1時30分から		
(3)その他			
8.閉会			

傍聴 4名

教育委員会会議 令和6年8月定例会 会議録

(15:00)

1. 開会

市民憲章唱和

2. 教育長あいさつ

3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第15条第2項の規定による。

4. 前回会議録の承認

全員賛成

5. 教育長等の報告

なし

6. 議事

(1) 議案

① 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について（教育総務課）

概要説明（資料6-1-1）

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価については、第3期津山市教育振興基本計画の進行を点検するものであり、点検の対象となる事業は、令和5年度教育行政重点施策で作成した取組となります。各取組の評価は14ページから掲載しており、全部で56の取組となります。

点検・評価にあたっては、学識経験者による講評を付すことが定められているため、昨年と同じく服部委員と福田委員の2名に評価をお願いし、7月に56の取組のうち重点的なものについて、各課より説明を行った後に総評をいただきました。

総評の内容は70ページ以降に記載しています。福田委員からは、教育委員会の取組が成果をあげていることと、教育行政に真剣に取り組む姿勢に対して今後の期待を込めたお言葉をいただき一方、GIGAスクール構想による急激なデジタル化で子どもたちの健康不安やストレス不安が生じる恐れがあるご指摘をいただいています。

また、総評に対して教育委員会の今後の対応の方向性を76ページ以降に記載しています。例えば、服部委員からご指摘をいただいた「授業で毎日ICT機器を使用する」割合が、中学校で目標値（80%）に達していなかった（62.5%）ことについて、「中学校の課題の背景を校長ヒアリング等で把握し、市独自で組織しているICT活用推進員が作成した津山市ICTリテラシー学年別表を活用し、ICT機器使用率の向上に取り組む」こととしています。

この度、外部評価委員からいただいた指摘事項につきましては、教育委員会の共通認識として共有し、課題意識を持って今後しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

本報告書は、本日の教育委員会で承認をいただいた後、9月に議会へ報告し、その後ホームページ等で広く公表します。

② 「津山市立中学校部活動の在り方及び地域連携・地域移行の基本方針」について（学校教育課）

概要説明（資料6-1-2）

「津山市立中学校部活動の在り方及び地域連携・地域移行の基本方針」については、7月18日から8月16日までの1か月間にわたり、意見募集を行い、2名から3件のご意見・ご質問をいただきました。内容は、教職員の時間外勤務の現状に関する事項や地域クラブ活動の整備に関わる事項で、ご意見に対する市の考え方を資料に示しています。

これらの意見やご指摘を踏まえて表記等の修正を行い、最終案を取りまとめています。本日の教育委員会で承認をいただきましたら、市の決裁を経て公表する予定としています。

(3) 報告

① 令和6年度 全国及び岡山県学力・学習状況調査の結果について（学校教育課）

全国及び岡山県学力・学習状況調査の結果の概要について説明します。なお、本概要はホームページでも公表します。

まず、小学校の成果について、6年生の国語では「話すこと・聞くこと」の領域で全国・県の平均正答率を上回っています。これは授業中での話し方、聞き方のスキルの指導や対話的な活動を取り入れる等、取組を進めてきた成果であると考えられます。次に、算数では、3・4・5年生で基礎・活用ともに県の平均正答率を上回り、さらに3・4年生は全国の平均正答率も上回っています。これは、市独自の学力定着確認テストを作成し、低学年から実施することですまづき解消の取組を進めてきた成果であると考えられます。

次に、小学校の課題です。国語では6年生の「書くこと」「読むこと」の領域に課題が見られるため、読解力の向上に向けて「よむYOMUワークシート」等を活用しながら改善の取組を引き続き行っていきたいと考えています。算数では、同じく6年生の「思考力・判断力・表現力等」を問われる問題に課題が見られます。

続いて中学校の成果です。中学校でも3年生の国語で「話すこと・聞くこと」の領域において全国の平均正答率を上回っています。ペアやグループ、端末を活用した話し合い等で、根拠を明らかにしたり、相手の考えと比べたりする学習活動の成果が少しずつ表れていると考えられます。数学の成果は、3年生の「データの活用」について、全国の平均正答率を下回っていますが、その差が昨年と比較して縮まっています。比較や傾向を読み取ることに重点を置いた学習活動の成果が少しずつ表れていると考えています。英語では、1、2年生ともに「書くこと」の領域について全国との差が小さくなっています。「書くこと」焦点化した指導の成果が出ているものと考えられます。

中学校の課題として、国語はすべての学年において、依然として「書くこと」「読むこと」の領域に課題が見られるため、引き続き、読解力の向上とともに「書くこと」の学習活動を工夫して進めたいと考えています。数学については、小学校と同様に「思考力・判断力・表現力等」に関する設問が共通の課題であると言えます。英語については、「聞くこと」「読むこと」の領域に大きな課題が見られます。授業の中で聞いたり話したりする活動を増やすことが求められています。

続いて全国学校質問紙（各校が回答）の回答について、小学校・中学校ともに、学力調査の結果の分析とその反映について「よく行っている」と回答している学校は、全国・県の平均を20ポイント以上上回っています。また、小学校・中学校ともに、児童生徒の様子を担当等だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り等を行っていることについても、「よく行っている」と回答している学校の割合が、全国・県を上回っています。小学校での学年担任制や中学校での教科横断的な取組の成果が表れていると考えています。さらに、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことについても「よく行っている」と回答している学校の割合が多くなっています。一方、児童生徒の端末活用について、「ほぼ毎日活用している」と回答した学校は、全国・県を上回っていますが、交流場面での活用等は下回っているため、今後、内容に関する活用方法を検討する必要があります。また、小中学校ともに、近隣の小中学校との連携について「よく行っている」と回答した学校の割合が、全国・県を下回ったため、本日の校園長会議の後に、臨時校長懇談会を開催し、中学校ブロックごとに今回の結果を受けた話し合いを行いました。今後も、中学校ブロックごとに協議を行い、連携を進めていきたいと考えています。

児童生徒質問紙の回答については、本市の児童生徒は「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標をもっている」に肯定的な回答の割合が高くなっています。また、昨年は課題となっていた「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたか」という問いに対しては、すべての学年で県平均を上回りました。先ほど学力の結果において、「話すこと」「聞くこと」の力がついてきたことを分析しましたが、ここにも関連しているのではないかと考えられます。他にも、「PC・タブレット等のICT機器の使用（ほぼ毎日）」も、全国・県を上回っています。

一方、課題について、本市の児童生徒は、1日あたりのスマートフォンを使ったSNSや動画視聴の時間が長いという結果が出ており、特に中学校3年生に関しては、平均時間の数値がかなり高く、大きな課題としています。また、「家庭学習時間1時間以上している」割合は平均を下回っており、家庭学習の時間が短いことが課題となっています。

これらの結果を受け、今後の主な取組をまとめています。教育委員会としては、中学校の数学について、指導主事等の学校訪問等で重点的に学校とともに指導を行います。授業づくりやその内容・方法について指導助言を行いたいと考えています。他にも、読解力向上の取組やスマートフォン等、家庭や地域を巻き込んで指導できる教材を全校に再周知し、ネットモラルの計画的な指導を促すこととしています。各学校で取り組むことについては、資料に記載している項目を校園長会議で説明しました。PTAや学校運営協議会へ情報提供し、家庭や地域も連携して取り組んでいきたいと思います。

②令和6年度 教育長とPTA会長との懇談会について（学校教育課）

7月下旬の3日間、3つのブロックに分かれて、教育長とPTA会長の懇談会を実施しました。今年度は、今後のPTAの在り方、コミュニティスクール、部活動等6つのテーマでグループ協議を行いました。協議

は各グループで話し合いたいテーマを設定して、自由に協議を行い、資料にあるような様々な意見が出ています。その中でも、学校運営協議会の活用については、喫緊の課題を議題に上げて熟議することが重要であるとPTAとも共有しています。PTAからは、加入への取組やメールシステムの改善、家庭でのタブレット使用に関する情報提供等への要望をいただいています。今後もPTAと教育委員会でしっかりと情報共有しながら取組を一緒に進めていきたいと考えています。

③津山市中学生 企業見学バスツアー・地域の大人に学ぶ夢育講座について（学校教育課）

中学生を対象に、8月2日と17日の2日間、企業見学バスツアー・地域の大人に学ぶ夢育講座を開催しました。夢育講座は今年度新規の事業となります。

全部で6企業等を訪れ、様々な体験をすることができました。

本事業について、生徒の見学の様子やアンケート結果から目標は達成できたと捉えていますが、定員（20人）の確保ができなかったことから、開催時期や広報の見直しを考えたいと思います。今後も方法や内容の充実を図り、子どもたちが未来に目を向けるきっかけとなるような取組にしていきたいと思っています。

7. その他

(1)各課からのお知らせ

①津山市教育委員会通信9月号について（学校教育課）

津山市教育委員会通信9月号を発行します。記事は、3つあります。

1つ目は、津山市中学生企業見学バスツアー・地域の大人に学ぶ夢育講座の実施を紹介しています。生徒たちは見学や体験を通して、将来を考える1つのきっかけづくりになったのではないかと考えています。

2つ目は、小中学生版つやま検定の実施を紹介するものです。昨年1か月間の限定トライアルを経て、今年は7月20日から10月31日まで実施しています。小中学生が津山の歴史や文化、地域の様子について問題を解くことで、主体的につやま郷土学を学び、郷土愛を育む企画となっています。現在163件の回答をいただいておりますが、期間はまだまだありますのでチャレンジしていただきたいと考えています。

3つ目は、令和6年度全国及び岡山県学力学習状況調査の結果となっています。

②給食だよりについて（保健給食課）

給食だより8・9月号を発行しました。今回のイチオシ！給食メニューは、常備野菜のポトフです。9月1日の防災の日に合わせて、防災献立の提供を予定しており、防災献立を通じて、災害時の食事について考えてもらうことを紹介しています。

次ページでは、食育センター探検ツアーの様子を紹介しています。調理委託業者にも協力いただき、野菜の下処理の様子や水の入った窯混ぜ体験をしてもらいました。また、市からは環境事業課が食品ロスをテーマに参加してもらっています。

続いて、勝北中学校の生徒会がSDGsの取組で、草加部センターを取材に来た様子を載せています。夏休み明けに、取材の様子を校内で報告するとのことですので、日時等の詳細が決まりましたら報道への連絡とともに、委員の皆様にもお知らせしたいと思います。

最後にリクエスト給食の内容を載せています。残食減少の取組の1つとして1学期に実施した「目標時間にいただきますキャンペーンに参加して、リクエスト給食に投票しよう」で投票いただき、リクエストが実現した献立と提供日を紹介しています。リクエストは、毎年参加するクラスも増えてきている状況です。

③「ひきこもり理解のための講演会」及び「ひきこもり当事者の家族のつどい」の開催について（次世代育成課）

次世代育成課は、子ども若者総合相談窓口、ひきこもり相談窓口の責を担っています。この度、ひきこもり理解を目的に、岡山県ひきこもり地域支援センターからひきこもり支援コーディネーターである葉山朝子氏を講師にお迎えして、10月3日13時30分から講演会を開催します。また、同日の講演会終了後と12月12日、2月6日の3回、ひきこもり当事者の家族のつどいを開催しますので、併せてお知らせします。

④保育の質向上に関する研修会の実施について（こども保育課）

令和6年9月2日14時から、津山市役所大会議室にて、鳴門教育大学大学院教授の佐々木晃先生をお招きして、「幼児教育から学びの架け橋をつなげよう」を演題として保育の質向上に関する研修会を開催します。園・小学校へも案内をしており、現在30名程度から申込をいただいています。当日参加も可能である旨、本日の校園長会議でも案内をしたところですので、多くの方に参加していただきたいと思って

います。

(2) 次回定例会の開催について

教育委員会規則に毎月第4木曜日が定例会開催日となっておりますが、次回定例会は令和6年9月26日(木)午後1時30分から開催します。 ー全員賛成により決定

(3) その他

(16:17) 休憩

(16:50) 再会

6. 議事

(2) 協議

①令和6年度9月補正予算について

(非公開)

(1) 議案

③教科書採択について

(非公開)

8. 閉会

(17:16)